学校整理番号(115)

植物管理科　昼間部
フラワーデザインコース

１年生シラバス

学校法人 中村学園
専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園

シラバス（授業計画）

学科名	植物管理科				コース名	フラワーデザインコース	
科目名	花色彩学					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	3 単位
		通年	3 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	菊地 律子						
	実務経験	有	フラワーデコレーター協会認定校主宰。2017年合格者100名達成「ダイアモンドスクール」受賞。フラワーデコレーター・フラワーカラーコーディネーター２級取得指導者。				
授業概要	フラワーカラー検定テキストに添って花の色、色彩についての知識を深め、 花々の魅力をより引き出せること。 色彩、配色の必要性を学ぶ。					授業形式	講義
到達目標	フラワーカラー検定の合格。フラワーカラーアドバイザーとして、花に関わる様々なシーンに活用出来る様になる。						
教科書・教材・服装等	フラワーカラー検定テキスト カラーアンダートーンシステムカード						

授業計画	授業内容
1～2	オリエンテーション　色彩の知識の必要性について
3～6	色の持つイメージ（色相のイメージ）
7～10	花の色別　花の色と人々の関わり　花色のメカニズム
11~14	色彩基礎知識　色のしくみ、色相環、配色と調和（カード実技）
13~14	色の三属性と心理効果について
15~18	前期まとめ、復讐
19~20	前期練習問題
21~26	配色から広がる色とイメージ
27~28	色彩の文化と花の歴史
29~30	ガーデニング・インテリアとフラワーカラーについて
31~32	フラワーカラー検定のまとめ
33~34	模擬試験
35~58	イメージを配色で表現する。各自コラージュ制作及び、プレゼンテーション。

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実技試験
			○	実施しない

成績評価基準	A評価	出席率90％以上・平常点 優れている
	B評価	出席率80％以上・平常点 普通
	C評価	出席率80％以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	植物管理科				コース名	フラワーデザインコース	
科目名	フラワー管理					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	1 単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位
		通年	単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	津島 幸織						
	実務経験	無					
授業概要	ガーデン栽培実習の内容をもとに、1号館の花壇管理を中心に植物の管理方法を学ぶ。 また、学園内施設の環境美化意識を持たせ、校内に飾るアレンジメントの設置とメンテナンスを行う。					授業形式	演習
到達目標	施設と備品の扱い方と管理、花壇の美化意識、植物の状態についての観察力や処理能力を高める。						
教科書・教材・服装等	使用テキスト：プリント　服装：エプロン、手袋必須						

授業計画	授業内容
1	施設紹介、設備案内、備品の場所と説明
2	施設内校内美化および1号館花壇管理方法について
3	座学（クリスマスローズ・ローズゼラニウムについて）・花壇管理
4	１号館花壇管理
5	座学（長柄ガーデンmapの説明、花の咲き方、専門用語など）
6	１号館花壇管理
7	座学（あじさいについて）
8	１号館花壇管理
9	座学（毒をもつ植物について）
10	１号館花壇管理
11	座学（長柄ガーデンの植物について）
12～15	１号館花壇管理

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実技試験
			○	実施しない

成績評価基準	A評価	出席率100％・定期試験や小テスト100点・平常点 優れている
	B評価	出席率99～90％以上・定期試験や小テスト99～90点以上・平常点 普通
	C評価	出席率89～80％以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	植物管理科					コース名	フラワーデザインコース	
科目名	フラワーショップビジネス					必修・選択必修の別	必修	
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	14 単位	
		通年	14 単位					
	2年	前期	単位	後期	単位			
		通年	単位					
担当講師	杉浦 幸雄							
	実務経験	有	オランダウェラントカレッジ認定講師。現在も花材協会や市場にて技術指導を行っている。					
授業概要	他にはない実践的なフラワーショップをオープンさせ、２年生がスムーズに動けるような土台ベースや、基礎知識を得て、翌年のシミュレーションをイメージしながら進行してもらう。					授業形式	演習	
到達目標	大テーマ ～　お花屋さんが真似したくなるお花屋さん　～ 原価売価計算・粗利計算・商品構成ベース・POP作りなど、基本ベースをマスターしてもらい、先読みできるち力をつけてもらうことが目標							
教科書・教材・服装等	私物作成資料・実習授業服装（ショップを運営しない日はエプロン着用可）							

授業計画	授業内容
1~4	オリエンテーション・お花屋さんについてレクチャー・お花屋さん良い所悪い所プレゼン、自作品画像閲覧等
5~8	オリエンテーション・授業内容を発表・ラッピング資材について・ルーム内備品説明等
9~12	メンテナンス・リボンワーク(表裏の蝶結び復習・挿し込み）座学子供の日について等
13~16	メンテナンス・水揚げについて・リボンワーク(フレンチボウ）座学母の日について等
17~20	メンテナンス・保水処理について・リボンワーク(表裏の蝶結び復習・フレンチボウ）ナイフの使い方等
21~24	メンテナンス・吸水性フォーム・リボンワーク（表裏の蝶結び復習・フレンチボウ）母の日報告等
25~28	メンテナンス・ストックルームの使い方・リボンワーク(フレンチボウ復習）等
29~32	メンテナンス・リボンワーク（表裏の蝶結び復習　長さどり・フレンチボウ)・花屋用語②等
33~36	メンテナンス・リボンワーク（全般復習）・ワンステムラッピング・長柄カットについて等
37~40	メンテナンス・リボンワーク（全般復習）・座学(ギフトについて)・資材カットについて・グループ分け等
41~44	メンテナンス・売価計算・値札（記載の仕方）・ディスプレイについて・花用語③等
45~48	オープン①（メンテナンス・水揚げ・値札付け・陳列）等
49~52	オープン①（メンテナンス・販売・反省点など記載・片付け）翌週の商品用資材カット等
53~56	オープン②（メンテナンス・水揚げ・値札付け・陳列）等
57~60	オープン②（メンテナンス・販売・反省点など記載・片付け）翌週の商品用資材カット等
61~64	オープン③（メンテナンス・水揚げ・値札付け・陳列）等
65~68	オープン③（メンテナンス・販売・反省点など記載・片付け）翌週の商品用資材カット等
69~72	オープン④（メンテナンス・水揚げ・値札付け・陳列）等
73~76	オープン④（メンテナンス・販売・反省点など記載・片付け）翌週の商品用資材カット等
77~80	オープン⑤（メンテナンス・水揚げ・値札付け・陳列）等
81~84	オープン⑤（メンテナンス・販売・反省点など記載・片付け）翌週の商品用資材カット　座学お盆等
85~88	オープン⑥（メンテナンス・水揚げ・値札付け・陳列）等
89~92	オープン⑥（メンテナンス・販売・反省点など記載・片付け）翌週の商品用資材カット等
93~96	メンテナンス・ﾜﾝｻｲﾄﾞﾌﾞｰｹ(花包み）筆記試験対策授業・リボンワーク実技試験対策
97~100	メンテナンス・ｵｰﾙﾗｳﾝﾄﾞﾌﾞｰｹ(円筒包み）・座学(接客対応）筆記試験対策授業・リボンワーク実技試験対策等
101~104	強化メンテナンス・筆記試験対策授業・リボンワーク実技試験・座学（敬老の日・お盆・お彼岸）
105~108	メンテナンス・今日のお花・鉢物(４点留め）)等

109~112	メンテナンス・今日のお花・ミニファレノラッピング・座学（お花の通信システム）等
113~116	オープン①（メンテナンス・水揚げ・値札付け・陳列）等
117~120	オープン①（メンテナンス・販売・反省点など記載・片付け）等
121~124	オープン②（メンテナンス・水揚げ・値札付け・陳列）等
125~128	オープン②（メンテナンス・販売・反省点など記載・片付け）等
129~132	メンテナンス・今日のお花・コチョウラン（おとし）ラッピング応用・座学（ハロウイン)等
133~136	オープン③（メンテナンス・水揚げ・値札付け・陳列）かぼちゃ切り抜き等
137~140	オープン③（メンテナンス・販売・反省点など記載・片付け）等
141~144	メンテナンス・今日のお花・折りバラ・座学等
145~148	オープン④（メンテナンス・水揚げ・値札付け・陳列）等
149~152	オープン④（メンテナンス・販売・反省点など記載・片付け）等
153~156	強化メンテナンス・ドライクリスマスリース作成等
157~160	強化メンテナンス・ドライクリスマスリース作成・座学（七五三)等
161~164	強化メンテナンス・ドライ注連飾り作成・座学（クリスマス)等
165~168	オープン⑤（メンテナンス・水揚げ・値札付け・陳列）等
169~172	オープン⑤（メンテナンス・販売・反省点など記載・片付け)等
173~176	オープン⑥（メンテナンス・水揚げ・値札付け・陳列）等
177~180	オープン⑥（メンテナンス・販売・反省点など記載・片付け）座学(年末)等
181~184	オープン⑦（メンテナンス・水揚げ・値札付け・陳列）等
185~188	オープン⑦（メンテナンス・販売・反省点など記載・片付け）等
189~192	強化メンテナンス・今日のお花・巻きバラ・座学(成人式・バレン・入卒)等
193~196	メンテナンス・今日のお花・翌週オープン準備・座学　年中行事・筆記試験等
197~200	オープン⑧（メンテナンス・水揚げ・値札付け・陳列）等
201~204	オープン⑧（メンテナンス・販売・反省点など記載・片付け）等
205~208	オープン⑨（メンテナンス・水揚げ・値札付け・陳列）等
209~212	オープン⑨（メンテナンス・販売・反省点など記載・片付け）等
213~216	オープン⑩（メンテナンス・水揚げ・値札付け・陳列）等
217~220	オープン⑩（メンテナンス・販売・反省点など記載・片付け）等

成績評価方法	・出席率	定期試験	前・後期	筆記試験
	・定期試験や小テスト又は実技試験		前期	実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			全て授業内に実施

成績評価基準	A評価	出席率90％・定期試験や小テスト80点以上・平常点 優れている・実技試験 優
	B評価	出席率70％以上・定期試験や小テスト70点以上・平常点 普通・実技試験 良
	C評価	出席率60％以上・定期試験や小テスト60点以上・平常点 やや劣る・実技試験 可
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	植物管理科				コース名	フラワーデザインコース	
科目名	いけばな					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	2 単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	2 単位
		通年	単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	茂呂 康代						
	実務経験	有	いけばな歴47年　県立佐原白楊高等学校華道部27年間指導 2020年より京都池坊中央研修学院に在籍				
授業概要	1．草木の生命力を表現する 2．花材の見る目を養う 3．花材の特徴を生かす					授業形式	演習
到達目標	日本の四季や行事を通じていけばなを生活に取り入れる。 資格免許：池坊家元「入門」・「初伝」申請可能						
教科書・教材・服装等	「はじめる　いけばな　学校華道」・「自由花入門カリキュラム」、家元指定花器・剣山						

授業計画	授業内容	
1 ～ 3	講義：いけばなとは・道具の使い方・ネット花展の説明	実技：指定花器使用
4 ～ 6	講義：基本技術	実技：指定花器使用
7 ～ 9	講義：自由花にチャレンジ①	実技：指定花器使用
10 ～ 12	講義：自由花にチャレンジ②	実技：指定花器使用
13 ～ 15	講義：自由花にチャレンジ③	実技：インターネット花展作品制作　作品制作後撮影
16 ～ 18	講義：季節や行事の花をいける	実技：指定花器使用
19 ～ 21	講義：花・葉・木をよく知る	実技：指定花器使用
22 ～ 24	講義：花器との調和	実技：指定花器使用
25 ～ 27	講義：作品が出来るまで	実技：指定花器使用
28 ～ 30	講義：おうちにいけばなを	実技：指定花器使用
31 ～ 33	講義：色の取り合わせ	実技：指定花器使用
34 ～ 36	講義：自由な発想でいける①	実技：花器自由
37 ～ 39	講義：自由な発想でいける②	実技：花器自由
40 ～ 42	筆記及び実技確認テスト	指定花器・当日の花材で作品制作

成績評価方法	◎総合評価	定期試験	○	筆記試験
	・作品録・実技確認テスト		○	実技試験
	・平常点（出席率・授業態度など）			実施しない

成績評価基準	A評価	総合評価　８５点以上　出席率90％
	B評価	総合評価　７０点以上～８５点未満　出席率90％以上
	C評価	総合評価　６０点以上～７０点未満　出席率90％以上
	F評価	総合評価　６０点未満　出席率９０％以上

シラバス（授業計画）

学科名	植物管理科				コース名	フラワーデザインコース	
科目名	フラワー装飾技能士対策					必修・選択必修の別	選択必修
実施期	1年	前期	2 単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	2 単位
		通年	単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	有薗 直美・野田　誠						
	実務経験	有	一般社団法人JIFD日本フローラルデザイナー協会所属、国家資格1級フラワー装飾技能士、職業訓練指導員。国家試験合格の為のスキルや技術を指導することができる。				
授業概要	3年連続生徒全員が合格。国家資格である３級フラワー装飾技能試験の内容を理解する。リボンワーク、花束、アレンジメント、ブートニアを決められた時間内で作成できるよう指導。また、花の歴史や知識、道具や資材の取扱いについて等の筆記試験問題の指導。その中で、今後の就職先でも通用する細かい技術やテクニックを指導し、国家試験3級試験に合格できる技術や知識を身につける。今年度は、一年生と合同授業になる。					授業形式	演習
到達目標	全員合格						
教科書・教材・服装等	3級フラワー装飾実技試験問題、3級フラワー装飾筆記試験問題						
授業計画							
1～3	講師の自己紹介、国家資格取得の意味、リボンワーク						
4～6	リボンワーク、ブートニアの作成						
7～9	検定試験筆記問題						
10～12	リボンワーク、花束作成						
13～15	リボンワーク、花束作成						
16～18	リボンワーク、花束作成、アレンジ作成						
19～21	リボンワーク、ブートニア作成、検定試験筆記問題						
22～24	リボンワーク、花束作成、アレンジ作成、ブートニア作成						
25～27	リボンワーク、花束作成、アレンジ作成、ブートニア作成						
28～30	リボンワーク・ブート、検定試験筆記問題						
31～33	リボンワーク、花束作成、アレンジ作成、ブートニア作成						
34～36	リボンワーク・花束作成・アレンジメント作成、検定試験筆記問題						
37～39	リボンワーク、花束作成、アレンジ作成、ブートニア作成(タイムトライアル)						
成績評価方法	・出席率			定期試験		筆記試験	
	・定期試験や小テスト					実技試験	
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）					実施しない	
成績評価基準	A評価	出席率100％・定期試験や小テスト100点・平常点 優れている					
	B評価	出席率99～90％以上・定期試験や小テスト99～90点以上・平常点 普通					
	C評価	出席率89～80％以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 やや劣る					
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合					

シラバス（授業計画）

学科名	植物管理科				コース名	フラワーデザインコース	
科目名	JIFD実習					必修・選択必修の別	選択必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	6 単位
		通年	6 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	野田　誠						
	実務経験	有	生花店経営２８年目、フラワー装飾技能士１級取得				
授業概要	フラワーデザインに必要な知識、技術をJIFDのカリキュラムをもとに理論実習で１年次は基礎を習得する					授業形式	実習
到達目標	トラディショナルな基礎デザインを理解し、アレンジメント、花束、ブライダルブーケまで製作可能にする						
教科書・教材・服装等	JIFDテキスト・実習着						

授業計画	授業内容
1 ～ 6	JIFDの基本理念、花の取り扱い、資材の取り扱い、ラウンドスタイルの説明
7 ～ 12	トラディショナル（ラウンド基礎～１焦点、面構成）花や道具の取り扱い
13 ～ 18	トラディショナル（トライアングルスタイル）花の取り扱い、基礎、展開・スパイラル花束
19 ～ 24	トラディショナル（Ｌスタイル）花の取り扱い、基礎、展開・スパイラル花束
25 ～ 30	トラディショナル（クレッセントスタイル）花の取り扱い、基礎、展開・スパイラル花束
31 ～ 36	トラディショナル（オーバルスタイル）花の取り扱い、基礎、展開・スパイラル花束
37 ～ 42	トラディショナル（ファンスタイル）花の取り扱い、基礎、展開・スパイラル花束
43 ～ 48	トラディショナル（ホリゾンタルスタイル）花の取り扱い、基礎、展開・スパイラル花束
49 ～ 54	トラディショナル（コウンスタイル）花の取り扱い、基礎、展開・スパイラル花束
55 ～ 90	トラディショナルデザインの総復習確認・スパイラル花束。確認小テスト。
91 ～ 96	ブライダルブーケ（ラウンドスタイル）基礎～展開
97 ～ 102	ブライダルブーケ（ティアドロップスタイル）基礎～展開
103 ～ 114	ブライダルブーケ(キャスケードスタイル）基礎～展開
115 ～ 120	ブライダルブーケ（クレッセントスタイル）基礎～展開
121 ～ 126	ブライダルブーケ（ホリゾンタルスタイル）基礎～展開
127 ～ 138	ブライダルブーケ総まとめ復習
138 ～ 174	トラディショナル・スパイラル花束・ブライダルブーケ総復習
175 ～ 180	1年次3カテゴリー確認小テスト実技

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）		○	実施しない

成績評価基準	A評価	出席率100％・定期試験や小テスト100点・平常点 優れている
	B評価	出席率99～90％以上・定期試験や小テスト99～90点以上・平常点 普通
	C評価	出席率89～80％以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・実技試験		○	実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実施しない

成績評価基準	A評価	出席率90％以上・実技試験90点以上・平常点 優れている
	B評価	出席率80％以上・実技試験75～89点・平常点 普通
	C評価	出席率60％以上・実技試験50～74点・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	植物管理科				コース名	フラワーデザインコース	
科目名	フラワークラフト					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	1 単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位
		通年	単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	小松 弥生						
	実務経験	有	一般社団法人JIFD日本フローラルデザイナー協会所属、豊富な実務経験と知識で高度な技術を、時代とニーズにあった指導をすることができる。				
授業概要	生花、プリザーブドフラワー、ドライフラワーのそれぞれの特徴を理解し、作品制作を通じて、必要に応じたワイヤリング、テーピングの方法など、その他基礎技術を習得する。					授業形式	実習
到達目標	現場（主にブライダル等）で求められるワイヤリング技術の基礎をしっかりと理解し、正確にかつスピーディーに作業できるテクニックを習得する。次の国家検定フラワー装飾技能士対策の基盤を作る。						
教科書・教材・服装等	配布プリント						

授業計画時間数	授業内容
1～3	（1）フラワークラフトについて。 種類、道具の説明。テーピング、ワイヤリングの説明
4～6	（2）テーピング実習　リボンワーク復習
7～9	（3）ワイヤリングテクニック①②③④の実習（生花）前週復習　リボンワーク
10~12	（4）ワイヤリングテクニック⑤⑥⑦の実習（生花）前週復習　リボンワーク
13~15	（5）ワイヤリングテクニック⑧⑨⑩の実習（生花）前週復習　リボンワーク復習
16~18	（6）ワイヤリングの実習（生花を使ったコサージュ）基礎①
19~21	（7）ワイヤリングの実習（生花を使ったコサージュ）基礎②
22~24	（8）ワイヤリングの実習（生花を使ったヘアード）基礎③
25~27	（9）ドライフラワーについて特徴及び扱い方①BOXフラワー
28~30	（１０）ドライフラワーについて特徴及び扱い方②BOXフラワー
31~33	（１１）プリザーブドフラワー／ドライフラワー（壁飾り）
34~36	（１２）プリザーブドフラワー／ドライフラワー（壁飾り）
37~39	（１３）生花を使ったワイヤリングテクニック総復習

成績評価方法	・出席率	定期試験	筆記試験
	・小テスト		実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）	○	実施しない

成績評価基準	A評価	出席率90％以上・小テスト90点以上・平常点 優れている
	B評価	出席率80％以上・小テスト75～89点・平常点 普通
	C評価	出席率60％以上・小テスト60～74点・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	植物管理課				コース名	フラワーデザインコース	
科目名	アーティフィシャルフラワー					必修・選択必修の別	選択必修
実施期	1年	前期	単位	後期	1 単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位
		通年	単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	長久保　長子						
	実務経験	有	アーティフィシャルフローリスト取得。生花店、アーティフィシャルフラワー専門店に				
授業概要	アーティフィシャルフラワーを扱う上で、歴史、製造工程、特徴などを学び、知識を深める。作品を作成しながら、アーティフィシャルフラワーのメリットを最大限に生かした、生花とは異なる様々な技法を学び、繰り返し反復しながら技術を取得する。					授業形式	実習
到達目標	様々な技法を習得し、クオリティーの高い作品が制作出来るようになる。						
教科書・教材・服装等	授業内配布プリント　　作品見本						

授業計画時間数	授業内容
1	アーティフィシャルフラワーの特徴、利用方法、歴史、製造工程を知る
2	ワイヤリング・テーピングの仕方を学ぶ
3	ラウンドアレンジ作成：ベースの構成や挿し方（曲げ挿し）を理解して作成する
4	グリーンアレンジ作成：テーマを決め、構成をデザインし、デッサン（デフォルメ）を描く
5 ～ 7	グリーンアレンジ作成：ワイヤーでの留め付けの技法を学び、作品を仕上げる
8 ～ 10	ヘッドドレス（花冠）作成：ヘッドドレスの条件」に合わせたワイヤリング方法を学ぶ　ワイヤリングを実践
11 ～ 13	ヘッドドレス（花冠）作成：ガーラントの作り方を学ぶ。花の配置を考慮して作成する
14 ～ 15	メリアブーケ作成：ペタル（花びら）の分解　パーツの作成方法を学ぶ
16 ～ 18	メリアブーケ作成：ブーケの組み方を学ぶ　ステム処理の方法を学ぶ　フレンチボウ取り付け
19 ～ 20	ブートニア作成：ブートニアの意味を知る　組み立ての方法を学ぶ
21	光触媒について：光触媒のメカニズム　使用目的を学ぶ
22 ～ 23	ラウンドブーケ作成：ブーケスタンドを利用した作成方法を学ぶ　花の大きさに合わせたワイヤリングを実践
24 ～ 25	ラウンドブーケ作成：ブーケスタンドに挿し込みながらブーケを作成　ステム処理の反復練習
26	キャスケードブーケ作成：ブーケスタンドを利用した作成方法を学ぶ
27 ～ 29	キャスケードブーケ作成：ブーケスタンドに挿し込みながら先端から作成　ステム処理の反復練習
30 ～ 31	ラウンドブーケ（手組）作成：手組でのラウンドブーケの作成方法を学ぶ　パーツの下準備
32 ～ 33	ラウンドブーケ（手組）作成：作成の注意点を意識しながらブーケを作成
34 ～ 35	ラウンドブーケ（手組）反復練習：反復練習をし技術を習得　ステム処理の反復練習
36 ～ 37	キャスケードブーケ（合体型）作成：合体型のキャスケードブーケの作成方法を学ぶ
38	キャスケードブーケ（合体型）作成：先端部分のガーランド作成方法を学ぶ
39 ～ 41	キャスケードブーケ（合体型）作成：ラウンド分部を作成　合体仕上げ　ステム処理の反復練習
42	授業の振り返り　確認：プリント参照　筆記試験へ向けて最終確認

成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実施しない

成績評価基準	A評価	出席率100％・定期試験や小テスト100点・平常点 優れている
	B評価	出席率99～90％以上・定期試験や小テスト99～90点以上・平常点 普通
	C評価	出席率89～80％以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	植物管理科				コース名	フラワーデザインコース	
科目名	ガーデン栽培実習					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	5 単位
		通年	5 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	橋立和子						
	実務経験	無					
授業概要	花の種類・栽培方法・播種と育苗方法・病気・害虫対策・肥料の与え方良い土・悪い土などの学習					授業形式	実習
到達目標	播種・育苗・手をかけて育てた草花が咲いた時の喜びを感じてほしい、そして植物への労りの心を高めてほしい						
教科書・教材・服装等	実技・動きやすい服装（サロペット）						

授業計画	授業内容
1 ～ 6	種まき方法と種類・鉢上げ・道具の使い方と管理
7 ～ 12	・座学　・種まき方法　・発芽までの管理方法　・花壇の手入れ
13 ～ 18	・座学　・土壌改良　・定植（緩効性肥料を施す）　・宿根草の植え付け
19 ～ 24	・座学　・定植　・梅雨対策　・宿根草の株分けと殖やし方
25 ～ 30	・座学　・花壇を風通しをよくする為の整理　・ツル性植物の剪定方法
31 ～ 36	・座学　・暑さ対策（日よけ、鉢花は日陰に移動する）　・アジサイの剪定
37 ～ 42	・座学　・除草　・花後の剪定　・お礼肥えの施し方
43 ～ 48	・座学　・夏植え球根の植え付け　・秋植え球根の堀上
49 ～ 54	・座学　・咲き終わった花は抜根して土壌改良しておく
55 ～ 60	・座学　・秋まき植物の種まき　・台風対策　・樹木の剪定
61 ～ 66	・座学　・樹木の剪定　・傷んだ植物を刈り込む　・暑さに弱い植物は日陰に移動する
67 ～ 72	・座学　・殺菌剤の散布　・追肥
73 ～ 78	・座学　・夏休みに入る前にやり残しのない様に花壇の整理、道具の整理・反省（良かった点・悪かった点）
79 ～ 85	・座学　・8月に種まきをした苗の鉢上げ　・土壌改良　・花壇整理
86 ～ 91	・座学　・夏に咲き終わった花を抜根　・秋まき草花の種まき
92 ～ 97	・座学　・秋バラ花後の処理　・草花の株分け
98 ～ 103	・座学　・花壇に春花の植え付け　・秋植え球根の植え付け
104 ～ 109	・座学　・花壇に春花の植え付け　・秋まき草花の種まき
110 ～ 115	・座学　・花壇に春花の植え付け　・秋まき草花の種まき
116 ～ 121	・座学　・花壇の整理　・殺菌剤、殺虫剤の定期的散布
122 ～ 127	・座学　・バラの寒肥作り（牛ふん5ℓ・油粕200g・骨粉200g・苦土石灰200g・ようりん肥200g）
128 ～ 133	・座学　・バラの寒肥作り　・バラに肥料を施す穴を掘る（40センチ×40センチ）
134 ～ 139	・座学　・バラの寒肥作り　・バラ肥料を施す穴を掘る　・花壇で冬越し出来ない植物は温室中に移動
140 ～ 145	・座学　・バラの寒肥作り　・バラに肥料を施す穴を掘る　・つるバラの剪定
146 ～ 151	・座学　・バラに寒肥を施す(穴に肥料を入れ掘った土とまぜて残りの土をかぶせ平らにする
152 ～ 156	・座学　・バラの冬剪定（株を若返らせ、春によい花を咲かせるため）　・草花の霜よけ

成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実施しない

成績評価基準	A評価	出席率100％・定期試験や小テスト100点・平常点 優れている
	B評価	出席率99～90％以上・定期試験や小テスト99～90点以上・平常点 普通
	C評価	出席率89～80％以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	植物管理科				コース名	フラワーデザインコース	
科目名	ビジネストレーニング					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	1　単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1　単位
		通年	単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	古沢 真希						
	実務経験	有	メディア等各局で司会やキャスターを経て、研修会社を設立。様々なセミナー、講演会をプロデュースする傍ら、自らも講師として活躍。				
授業概要	ビジネス・マナーの基本スキルの確立と応用マナーの学習。参加・実習型訓練形式。					授業形式	講義
到達目標	基本の挨拶、メールの送り方、電話応対、話し方など、しっかりと覚えておくべきマナーとルールを身につける。シチュエーション別に自然な態度で礼儀作法にかなった接遇ができるようになるのが目標。						
教科書・教材・服装等	ビジネス・ハンドブック						

授業計画	授業内容
1	セルフ・プレゼンテーション
2	挨拶／お辞儀
3	言葉遣い　敬語１
4	言葉遣い　応対用語
5	電話応対　基本
6	電話応対　取次
7	手紙のルール
8	メール・SNS　のルール
9	訪問のマナー
10	来客応対　席次　案内
11	エレベーターのマナー
12	イノベーション・ゲーム
13	自己の棚卸し
14	総まとめ　テスト対策

成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実施しない

成績評価基準	A評価	出席率90％以上・定期試験や小テスト90点以上・平常点 優れている
	B評価	出席率80％以上・定期試験や小テスト75～89点・平常点 普通
	C評価	出席率80％以上・定期試験や小テスト60～74点・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科					コース名	動物飼育コース	
科目名	自己理解(&就職ガイド)					必修・選択必修の別	必修	
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1	単位
		通年	1 単位					
	2年	前期	単位	後期	単位			
		通年	単位					
担当講師	津島 幸織							
	実務経験	無	学生用LIFOライセンス講座を受講					
授業概要	個人が協調しあう「社会」にでるために、まずは自分自身を知る自己理解が重要です。 この自己理解がしっかりできていれば、自身の進むべき方向性が把握でき、他者との協調がよりスムーズになります。そこでこの科目では下記3点を目的とし、1年生前期で自己理解を深めます。 ①自己理解の3つの方法を身につけ、人間力の土台となる自己理解の能力と自信を高める。 ②自分の個性について、より広くより深く理解する。 ③知識、能力面を含めて自分自身に自信を持って語るための自己分析シートを作成する。 動植物業界で求められる人材の育成。今後始まる就職活動に向けての必要な知識を身につけ、キャリアプランの構築を行う。					授業形式	講義	
到達目標	自分の強みを知り、学生生活や人間関係、将来の仕事などで役に立つ「自分だけの必勝法」を見つけます。具体的に授業を通して以下のようなことができるようになります。 ・友人や苦手な人との付き合い方が分かり、人間関係がスムーズになります。 ・自分の長所が自己分析でき、就職活動やアルバイトの面接などに役立ちます。 ・勉強や自己啓発のより良いやり方・進め方がわかり、今までよりも成果が上がります。							
教科書・教材・服装等	LIFOテキスト（㈱ビーコンラーニングサービス）2,160円 個人レポート（㈱ビーコンラーニングサービス）540円 質問紙（㈱ビーコンラーニングサービス）1,080円							

授業計画時間数	授業内容
1	自己理解とは・自己理解の大切さと難しさの理解
2	ライフライン・自分自身をより深く理解する
3	LIFO診断
4	LIFOスタイル・LIFOの基本的考え方の理解
5	強みの確認①
6	強みの確認②
7	強みの確認③
8	他者からの指摘（ポジティブシャワー）
9	自分の強みを確認する④
10	就職室の紹介
11	『Google classroom』運用と使用方法の説明（誓約書回収）
12	業界インターンシップについて
13	就職セミナーについて
14	企業研究の仕方
15	強みの使い過ぎの確認
16	強みの拡張
17	自己分析シートの完成
18	福利厚生・社会保険について
19	身だしなみ指導
20	企業説明会
21	ESの作成指導
22	自己PRの基本構築と作成
23	インターンシップに向けて・電話のかけ方
24	インターンシップ事前準備
25	志望動機の基本構築
26	インターンシップ準備、企業説明会
27	課題レポートの作成

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・課題提出（自己分析シート、ライフライン）			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）		○	実施しない

成績評価基準		
	R評価	出席率80%以上・課題提出・平常点 優れている
	F評価	R評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	植物管理科				コース名	フラワーデザインコース	
科目名	コミュニケーション					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位
		通年	1 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	津島 幸織						
	実務経験	無					
授業概要	社会人として必要な知識やコミュニケーション能力を学校生活を通じて会得していく。					授業形式	講義
到達目標	社会人としてのビジネスマナーやコミュニケーション能力を身に付ける。						
教科書・教材・服装等	無し						

授業計画	授業内容
1	学校生活について①
2~3	専門学校生としての心構え、学校生活においての目標設定
4~5	挨拶と返事の仕方、お辞儀の仕方や身だしなみ
6~7	メラビアンの法則、言葉遣い
8~9	学校行事についてのディスカッション①
10~11	学校行事についてのディスカッション②
12	敬語表現や使い方
13	まとめ
14~15	学校生活について②
16~17	学校行事についてのディスカッション③
18~19	学校行事についてのディスカッション④
20	プレゼンテーション例
21~28	プレゼンテーションと振り返り

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実技試験
			○	実施しない

成績評価基準	R評価	出席率80%以上・提出物・平常点 優れている
	F評価	R評価の基準を満たしていない場合